

2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Fc009M	行事名	情報通信フロンティアセミナー ～衛星データのビジネス・減災活用と準天頂衛星～	
行事形式	ICTセミナー	主催団体	東海情報通信懇談会	
開催日	平成30年7月27日(金)		開催場所	愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階 1103会議室
行事参加者数	76名		WebサイトURL	http://www.newton.or.jp/pdf/20180727.pdf
行事実施概要・アピール等				
<p>現在、陸域観測技術衛星「だいち2号」による被災地の情報把握等、災害対応への取組が進められているほか、準天頂衛星システム「みちびき」が4機体制で運用開始される予定であることから、高精度な位置把握が求められる車の自動運転、ドローン運用、農業支援等、無人化や省力化を実現する次世代サービスの創出が求められている。そのような状況を背景に、「衛星データのビジネス・減災活用と準天頂衛星」をテーマにセミナー開催した。</p> <p>自治体、企業、大学等から76名が参加し、我が国の宇宙政策の動向や、最新衛星画像データ等の紹介とその利活用方法、準天頂衛星のシステムの利用実証等を含む講演内容が好評であった。講演タイトルは次のとおり。</p> <p>講演1: 衛星データで時をかける ～4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォースの検討結果と今後の展望～ 講師: 総務省 国際戦略局 宇宙通信政策課 衛星開発推進官 中谷 純之</p> <p>講演2: 衛星を利用した防災への取組み 講師: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) 特任担当役 加来 一哉 氏</p> <p>講演3: 準天頂衛星システム運用開始前夜 ～利用実証の全容とそこから見えてくる活用シーン～ 講師: 一般財団法人衛星測位利用推進センター(SPAC) シニアアドバイザー 松岡 繁 氏</p>				

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

